

設楽町のちびったちが菜の花畑へ

愛知県設楽町(平成2年姉妹都市提携)



●菜の花交流のきっかけ

平成14年度に農業委員会が一足早い春を届けようと、津具保育園に菜の花をプレゼントしたことから菜の花交流が始まりました。隔年で相互に訪問を重ね、園児が田原市を訪れる年はいちご狩り、みかん狩り、菜の花摘みなどを行ってきました。平成22年の交流20周年を契機に、津具保育園を含めた設楽町内の4保育園から、毎年2園ずつ受け入れを行っています。

●早春の田原市を満喫

1月28日(水)に設楽町の清嶺保育園と田口宝保育園の年中・年長園児29名が田原市にやってきました。

田原市に到着した園児たちは、楽しみにしていたイチゴ狩りを大久保町の農園で体験し



ました。高設栽培の真っ赤なイチゴは、ちょうど園児の目の高さで実り、みんな真剣な表情で品定めをしていました。口いっぱい大きなイチゴをほお張ると「甘くておいしい!」と笑顔いっぱい。楽しいひとときを過ごすことができました。

その後、加治町の菜の花畑を散策しました。園児たちが菜の花畑に隠れていたキャベツ畑とかいくんを見つけ、駆け寄る姿に、菜の花を管理しているNPO法人田原菜の花エコネットワークの皆さんからも笑顔がこぼれました。

渥美半島でこの時期に見られるキャベツ畑やブロッコリー畑の美しい風景。これも豊川用水の恩恵を受けているおかげです。これからも常に感謝の気持ちを忘れずに、上下流域の交流を続けていきたいものです。

▶政策推進課 ☎ 23局3507

家具などの転倒防止の重要性
巨大地震が発生し、大きな家具や電化製品の下敷きになれば命に

でした。
や、割れた
ガラスや食
器類の落下
によるもの
でした。



割が、家具
などの転倒
や、割れた
ガラスや食
器類の落下
によるもの
でした。
家具や電化製品が凶器に
あります。家の中を見渡してみてください。どのような家具や電化製品がありますか。もしも今、巨大地震が起きたら、身の回りの家具や電化製品が凶器となり、あなたを襲うかもしれません。実際に、阪神・淡路大震災でのケガの原因の約8割が、家具などの転倒によるものです。

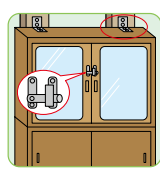
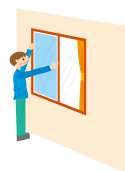
こ
んにちは、しろちゃんです。
いつ起きてもおかしくないとい
われている巨大地震ですが、皆さんの家庭では、どのような対策を行っていますか。

みんなできり組む防災・減災
しろちゃん
防災知恵袋
家具や電化製品の転倒による被害を防ごう

12



▼防災対策課 ☎ 23局3548
家具などの下敷きにならないよう、配置を工夫しましょう。
タンスや食器棚は、L字金具などで固定しましょう。
開き戸に留め具を付けましょう。
窓やガラス戸には、飛散防止フィルムを貼りましょう。



かわります。また、倒れた家具が部屋の出入り口や廊下をふさいだり、床に割れたガラスなどが散乱したりすると、避難の妨げになつて火災や津波などから逃げ遅れてしまう危険性もあります。家族の命を守るためにも、事前の対策が必要です。

◆事前の対策とは?